

1、学習のねらい及び使用教材

- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにできる態度を育てる。
- ・多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じとり、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。
- ・多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。

教科書：中学生の音楽1、中学生の器楽

2、評価の観点及び方法

| | | |
|------------------|--|--|
| 音楽への 関心・意欲・態度 | 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽に対する関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日頃の授業態度 ・提出物 ・試験の一部の項目の点数から総体的に評価する。 |
| 音楽表現の 創意工夫 | 音楽がつくっている要素を感じ、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を理解し、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・質問に対して、積極的に発言しようとしている。 ・試験の一部の項目の点数から相対的に評価する。 |
| 音楽表現の 技能 | 創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの実技試験及び試験の一部の項目の点数から評価する。 |
| 鑑賞の能力 | 音楽をつくっている要素を感じ、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を理解しながら、解釈したり価値を考えたりして、多様な音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞教材のときに、感想など書かせ、判断材料として評価する。 |

3、学習計画

| 各単元と主な内容 | | 評価の具体例 |
|----------|---|--|
| 1 学期 | 歌唱「forever」 歌唱「主人は冷たい土の中に」 鑑賞「春」「映画音楽」 アルトリコーダー 「喜びの歌」「聖者の行進」 | 【 歌唱 】 ・歌唱活動に主体的に取り組もうとしている。 ・ハ長調の階名で正しく歌っている。 【 鑑賞 】 ・曲の構成に気を付けながら、曲想の変化を感じ取って聴く。 【 器楽 】 ・ソプラノリコーダーとの違いに慣れる。 |
| 2 学期 | 合唱コンクールの取り組み 歌唱「星座」 鑑賞「魔王」 アルトリコーダー 「オーラリー」「エーデルワイス」 | 【 歌唱 】 ・合唱を始めて行う上で、上と下声部のバランスを互いに聴き合っている。 ・曲のまとまりやハーモニーの変化を感じ取って合唱できる。 【 器楽 】 ・低いソの音からファの音までの運指を理解し、その成果を音楽に表せている。 |
| 3 学期 | 歌唱「浜辺の歌」 歌唱「赤とんぼ」 歌唱「マイバラード」 鑑賞「アジア諸民族の音楽」「六段の調」 箏曲 「さくら さくら」 | 【 歌唱 】 ・曲想を感じ取って、速度や強弱の変化を生かした表現を工夫できている。 【 器楽 】 ・四分三拍子を意識して演奏できている。また、ドから高いレの音を正しく吹けている。 【 箏 】 ・箏の構造などを理解し、平調子の音階を奏することができる。 |

4、学習方法についてのアドバイス

| | |
|----|---|
| 学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書（2冊）、筆記用具は必ず持ってくる。 ・歌唱のときは、腹式呼吸を実践しているが、正しい姿勢でお腹から声を出すように意識する。 ・鑑賞教材のときは、感想を必ず書く課題をするので、自分が感じたことをまとめられるようにする。 |
| 家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ・日頃からたくさんのジャンルの音楽を聴くようにする。 ・j-popだけでなく、クラシックやジャズ、ラテン音楽など世界のたくさんの音楽をインターネット等で聴いてみる機会を持つ。 |